**成長戦略局**

**総務・企画グループ**

**１　局の庶務事務及び調整事務**

局の予算編成、経理、給与、物品、福利厚生及び一般庶務事項を掌り、当該事務の円滑な執行に努めた。

局内各グループの業務の総合調整を図り、円滑な事務執行を行った。

（１）主な備品の購入状況

なし

**２　「大阪の再生・成長に向けた新戦略」の推進**

令和２年12月に策定した「大阪の再生・成長に向けた新戦略」の進捗管理として、戦略目標の達成状況や戦略に掲げる取組のロードマップ等を取りまとめ、公表した。

**成長戦略グループ**

**１　「大阪版万博アクションプラン」の推進**

大阪・関西万博に向け、大阪ならではの持続的な成長の道筋を確かなものとするため、大阪市とともに令和４年５月策定した「大阪版万博アクションプラン」について、これまでの事業進捗や国との協議の進展等を踏まえ、令和５年６月、令和６年１月に改訂した。

**２　新しい成長シーズの発掘・施策化**

（１）モデル事業

大阪の成長を加速させるため、重点的な取組項目のうち、以下の項目でモデル事業を実施した。

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | モデル事業の内容 |
| スタートアップ | 大阪産業局を中心として外部の専門家等とのネットワークを構築し、研究シーズの堀り起こしや事業化を支援 |
| 食 | 万博を契機としたインバウンド増加を見据え、海外の富裕層等の府内周遊や長期滞在の促進につなげるため、泉州・南河内地域を対象に、ガストロノミーツーリズムのあり方を検証 |

（２）ディープテック・スタートアップの支援

企業版ふるさと納税を活用し、大阪が強みを有するライフサイエンス分野において、大学等の研究シーズを発掘する補助事業を実施した。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名 | 補助額  （総額） | 採択企業・団体 |
| 創薬シーズ研究開発費補助事業 | 30,000千円 | ・パンクセラピー㈱  ・リバスキュラーバイオ㈱  ・大阪大学大学院　薬学研究科 |

**国際金融都市グループ**

**１　国際金融都市OSAKAの実現に向けて**

（１）国際金融ワンストップサポートセンター大阪の運営

大阪に進出を希望する金融系外国企業等を対象に、誘致活動、情報発信と、ビジネス面、生活面等での支援をはじめ、一般的な企業誘致窓口では対応できない金融の専門的な問合せや相談等に対応するため、国際金融ワンストップサポートセンター大阪の運営業務を実施した。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名 | 金額 | 支払先 |
| 「国際金融ワンストップサポートセンター大阪」運営事業 | 17,720千円 | 株式会社パソナ　パソナ・淀屋橋 |

（２）金融系外国企業等誘致事業

大阪に進出を希望する金融系外国企業等を発掘し、それらの企業に　対して個別アプローチを行いニーズを把握・分析した上で、ビジネスマッチングの実施や国際金融ワンストップサポートセンター大阪とも連携した各種サポートを提供し、きめ細やかな伴走支援を実施した。

あわせて、金融系外国企業等の関心を引き出すよう、大阪の魅力やビジネスチャンス、インセンティブについてプロモーション・情報発信を実施した。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名 | 金額 | 支払先 |
| 令和５年度国際金融都市OSAKA金融系外国企業等誘致事業（令和5年7月～令和6年3月） | 42,880千円 | EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 |

（３）ポータルサイト運営管理業務

国内外への効果的な情報発信により、金融系外国企業等の関心を引

き、また、府民の金融に関する意識を醸成することを目的として開設したポータルサイト「Global Financial City OSAKA」を、適切に保守するとともに、国際金融都市として大阪の魅力をPRするため、管理運営業務を実施した。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名 | 金額 | 支払先 |
| 国際金融都市OSAKAポータルサイト「Global Financial City OSAKA」運営管理業務（令和5年4月～8月） | 550千円 | 丸三株式会社 |

**空港政策グループ**

**１　関西国際空港(株）（現・関西国際空港土地保有(株））に対する出資業務**

関西の府県･政令市とともに、昭和59年度から平成22年度まで出資を行った。平成23年度以降は新たな出資を行っておらず、出資財源として発行した府債の元利償還を行っている。

**２　関西国際空港の機能強化に向けた取組**

関西国際空港については、国や地元経済界、自治体が参加する関西３空港懇談会（以下「３空懇」）において、関空の容量拡張の実現に向けて国から示された新たな飛行経路について、有識者会議を設置し、環境面への影響など必要な検討を行うことを合意した。

これを受けて、兵庫県・和歌山県と共同で設置した「新飛行経路に係る環境検証委員会」からの提案を踏まえ、住民の生活環境への負担を軽減できるよう、令和６年２月に国に対して要請を行い、同年３月には、国から要請事項への対応が示された。併せて、地元に対して丁寧に説明を行うなど、地域における取組みを着実に進めている。

関西国際空港全体構想促進協議会（以下「協議会」）等においては、国に対し、関西国際空港における円滑かつ快適な受入体制の整備や国際線旅客需要の早期回復等を求めるとともに、2025年大阪・関西万博とその後の成長を見据えた機能強化等について、支援・協力を求めた。また、空港内事業者の人材確保や関西国際空港の立地効果波及推進事業など、協議会事業に取り組んだ。

**３　関西国際空港関連の地域整備に係る調整**

「関西国際空港関連地域整備計画」及び「関西国際空港を活用した地域振興ビジョン」に基づき、庁内関係部局と調整を行った。

**４　関西国際空港の環境面の総合調整**

関西国際空港の運用等から生じる環境面の諸課題に関して、関係機関と協議を進め、総合的な調整を図った。

（１）関西国際空港環境監視機構の運営

空港の運用及び関連事業の実施によって、地域住民の生活環境に支障が及ばないよう必要な措置を講じるため、府及び泉州９市４町の首長で構成する関西国際空港環境監視機構の運営を行った。

○環境の監視及び結果の公開

関西国際空港に係る環境監視データについて、その内容を適宜チェックするとともに、令和４年度の環境監視結果を報告書として取りまとめ、府のホームページ等及び泉州９市４町において公開した。

○環境部会の開催

令和４年度の環境監視結果について、環境保全上支障がないか検討、評価した。また、航空機騒音以外の環境影響の検証結果について、空港を運営する関西エアポート（株）から報告された。（令和５年９月13日開催）

○環境監視基礎資料作成等業務委託

空港運営者及び府が実施した環境監視データ等を検討、公表するため、各種資料を作成した。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 委託料 | 予算額 | 決算額 |
| 令和３年度 | 616千円 | 616千円 |
| 令和４年度 | 605千円 | 605千円 |
| 令和５年度 | 638千円 | 638千円 |

（２）関西国際空港の飛行経路問題に係る協議会の運営

関西国際空港の飛行経路に係る課題について関係機関と協議・調整するとともに、国及び事業者が騒音問題等に適切に対処していることを確認した。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 開催日 | 内容 |
| 第１回  幹事会 | 令和５年７月14日 | ・関西３空港懇談会の概要報告　他 |
| 第２回  幹事会 | 令和５年10月17日 | ・協議会議事事項の調整　他 |
| 第31回  協議会 | 令和５年10月23日  （書面開催） | ・航空機騒音測定結果等の確認  ・「環境面の特別の配慮」の措置状況に関する確認　他 |

（３）新飛行経路案に係る環境検証委員会の運営

関西国際空港の新たな飛行経路に係る航空機騒音の影響を客観的、科学的に検証するため、有識者による検証委員会を兵庫県・和歌山県と共同で設置・運営した。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 開催日 | 内容 |
| 第１回  検証委員会 | 令和５年８月３日 | ・騒音予測の前提条件について議論 |
| 第２回  検証委員会 | 令和５年11月６日 | ・騒音予測結果（暫定案）の公表 |
| 第３回  検証委員会 | 令和６年１月29日 | ・騒音予測結果（修正後）の公表  ・中間とりまとめ |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 環境検証委員会負担金 | 予算額 | 決算額 |
| 令和５年度 | 500千円 | 329千円 |

**５ 大阪国際空港周辺の航空機騒音公害防止対策**

大阪国際空港周辺の住環境の改善のため、空港設置者が行う第１種区域内の住宅の騒音対策助成事業等に対して、補助を行った。

根拠法令等：住宅の航空機騒音防止対策事業補助金交付要綱

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 住宅の航空機騒音防止対策工事等補助 | 予算額 | 決算額 |
| 令和３年度 | 1,378千円 | 896千円 |
| 令和４年度 | 1,750千円 | 1,380千円 |
| 令和５年度 | 828千円 | 644千円 |

**６　大阪国際空港の運用等に係る調整**

大阪国際空港が環境と調和した都市型空港として適切に運用されるよう、関係機関と環境対策等に関する情報共有及び意見交換を行った。

また、国や周辺自治体により構成する協議会等に参画するなど、周辺地域の活性化・まちづくりなどについて調整等を行った。

**７　岬町多奈川地区多目的公園の管理**

関西国際空港２期事業の土砂採取跡地（岬町多奈川地区）を活用し、府民の憩いの場の創出や地域の発展のため、平成25年度末に供用を開始した岬町多奈川地区多目的公園について、岬町と締結した協定に基づき、管理を行う岬町に負担金を支出した。

事業活動ゾーンへの企業立地については、府と岬町で構成する岬町多奈川地区整備促進協議会が主体となり、進出予定事業者との調整を行った。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 岬町多奈川地区多目的公園  管理負担金 | 予算額 | 決算額 |
| 令和３年度 | 4,524千円 | 4,524千円 |
| 令和４年度 | 4,524千円 | 4,524千円 |
| 令和５年度 | 4,524千円 | 4,524千円 |